

第237回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

(令和2年4月)

株式会社 岩手朝日テレビ

第 237 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

1. 新型コロナウイルス感染防止からレポート提出により番組審議会を実施。
委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき、意見を集約し
議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員長	村田久
委員	小松豊
委員	石川健正
委員	そのだつくし
委員	高橋惣兵衛
委員	佐藤年男
委員	樋口知志
委員	佐竹雅之

会社側出席者名

代表取締役社長	畠山大
取締役報道制作局長	小原洋
3県特番局担当プロデューサー	
	吉田幸弘
事務局長	三浦茂樹
事務局	波岡功

3. 合 評

合評課題：テレビ朝日系列 被災3局共同制作

岩手・宮城・福島 報道特別番組

「復興の狭間で～被災地の希望と現実～」

放送時間：令和2年3月11日（水）15：00～15：50

4. 概 要

岩手、宮城、福島のテレビ朝日系列3局の共同制作番組で、東日本大震災から9年を迎えた3県の現実と課題を生放送で伝える内容

委員意見

- ・復興の進捗が分かり、課題を抱えている現状を把握できた
- ・あらためて震災からの復興を考えるきっかけになった
- ・自然災害の恐ろしさを後世に伝えることは、テレビの役割と再認識した
- ・全体的に重々しく、暗い気持ちになった。希望のエッセンスがあっても良かった
- ・様々な角度から伝えたが、総花的になった感じがあり、未来につながる部分をフォーカスしても良かった